学部卒業（予定者）コース（学部生用）

一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、未来を拓く。

それは感動の連続です。

玉川大学教職大学院では、理論と実践を融合したカリキュラムによって

子どもたちの成長をサポートする

真のプロフェッショナルを育成します。

さあ、あなたも子どもたちの笑顔と未来を創造する

刺激的な教職の世界に飛び込みましょう。

# 玉川大学教職大学院

## 説明会
（対面およびオンライン）
## 個別相談会

対面およびオンラインの説明会を実施しています。日程など詳細はHPをご確認ください。また、個別相談会も受け付けていますので、お気軽にお問合せください。

# Forward-thinking Educator: Advanced

全人教育を担い、教育界を切り拓いていく

## 確かな理論と共に、より実践的な指導力・展開力を備えた、新しい学校作りの有力な一員となり得る小学校・中学校・高等学校教員を育成します。

**さまざまな情報が錯綜する今日の高度情報化社会は時代や社会を日々変化させています。**

この変化は学校教育においても同様です。教員の使命も子供たちに知識を教授することに加え、高学歴化した保護者、地域コミュニティーなどからの要求（Demand）に応えることにまで拡大しています。常に変化の伴う今日の教育現場において必要とされるのは、問題意識を抱き、高度な専門的能力および優れた資質を有する"高度専門職業人としての教員"に他なりません。教職大学院では今日の教育現場に現状を把握・分析するための理論と課題解決を推し進めることのできる"School Leadership"を兼ね備えた教員を育成します。

## あなたのニーズに応じる学修プログラム

| | 学部4年生 | 大学院1年生 | 大学院2年生 | 大学院3年生 |
|---|---|---|---|---|
| 標準履修（2年課程） | | 実習 | 学校課題研究 | |
| 長期履修（3~4年課程） | | 免許科目の履修 | 実習 | 学校課題研究 |
| 実践教育プログラム (Practical Training Program) | 先取り3科目 | 実習 | 各自治体における勤務 学校課題研究 | |
| 玉川5年プログラム (Tamagawa Five-year Program) | 先取り3科目 実習 | 学校課題研究 実習 | | |

※5年および教育実践プログラムは、入学前（2月～3月）に指定の科目を履修します。
※標準コース以外は、受験前に履修指導が必要になります。詳細は教職大学院の担当者にお問い合わせください。

## 総合学園ならではの充実した学修環境

一つのキャンパスで、幼稚園生から大学院生が学びます。
例えば、「全人教育の理論と実践」では、私学ならではのK-12のカリキュラム・マネージメントを学んだり、植物工場やメーカーズフロアなど学園内の教育資源を生かして学修します。
脳科学研究所やTAP（Tamagawa Adventure Program）センターに関連する授業もあります。

## 少人数だからこその関係性

定員は20名です。少人数のメリットを活かし、現職院生、学卒院生、そして教員が、校種や教科、地域の壁を越えてアットホームな雰囲気で交流します。教員との距離も近く、何でも気軽に相談することができます。

## あなたの【挑戦】に本気で向き合う教授陣

豊富な現場経験のある実務家教員と、学校を主なフィールドとする研究者教員が、指導を担当します。進路の悩みから学校経営・授業改善まで、データと経験に基づく丁寧な指導で、あなたの成長をナビゲートします。教員のプロフィールは上記QRコードからご確認ください。

## 理論に裏打ちされた【確かな実践力】を育てるカリキュラム

### 必修 基本科目群 10科目20単位

- 教育課程編成の研究と実践
- 教育相談と特別支援教育の実践と課題
- 授業デザインの研究と実践
- 学級経営の実践と課題
- 教科教育の研究と実践
- 学校経営の研究と実践
- 教育方法の研究と実践
- 学校の社会的役割と教員の服務
- 生徒指導と特別活動の実践と課題
- 教員の在り方と資質の向上

### 必修 学校における実習 1科目10単位

以下選択科目

- 教職専門実習A（10単位）
- 学校実践研究（2単位）
- 教職専門実習B（8単位）
- 教育実践研究（基礎）
- 教職専門実習C（2単位）
- 教育実践研究（応用）

※教職経験により、10単位または8単位を免除する場合がある。

### 選択 発展科目群 6科目 12単位以上

4コースのうち1コースを選択すること　○印はコースの必須項目

**指導が難しい子供への支援コース**

- ○ 特別支援教育の理論と教育
- ○ 教育相談の理論と実践（小・中・高）
- ● 発達障害の理論と課題
- ● 発達障害の理論と課題
- ○ 特別支援教育と医療
- ● 学校カウンセリングの技法

**教育経営コース**

- ○ 公教育と学校組織
- ● 学校評価と学校づくり
- ○ 学校経営と教育行財政
- ● 教育法規の理論と実践
- ○ 教育課程経営の理論と実践

**心の教育実践コース**

- ● 道徳授業の研究と実践（小・中・高）
- ○ 心の教育と道徳教育
- ○ 心の教育実践研究
- ● 脳科学と教育
- ○ 生徒指導の理論と実践（小・中・高）
- ● ファシリテーターとしての教師の技術と実践A
- ● ファシリテーターとしての教師の技術と実践B

**教育実践・教材開発コース**

- ○ 教材開発と授業実践
- ○ コンピュータと教育
- ○ 教科学習の研究と実践
- ● 児童英語の実践
- ● 国語科学習デザイン研究
- ● 算数・数学科学習デザイン研究
- ● 理科科学習デザイン研究
- ● 社会科学習デザイン研究
- ● 外国語活動・英語科学習デザイン研究
- ● 美術科学習デザイン研究

### 必修 総合科目群 2科目4単位

- 全人教育の理論と実践（1単位）
- 学校課題研究（3単位）
  ※最終年度に通年で実施

グループ討議やワークショップ型の授業を通して、理論と実践の往還を目指します。1年生秋の専門実習は連続した10週間が基本です。学校課題研究は、実習や教職経験等で実感した教育課題を解決します。「IB(国際バカロレア)」や「学級ファシリテーター」の資格を得ることもできます。

## 教師になりたいを支える経済的支援

学業を進めるためには経済的負担が伴います。過度のアルバイトは、学業に支障をきたしかねません。そこで、学業優先の視点から、必要な経費の一部を確保するための経済的援助があります。

### 大学院学生学会発表・参加費旅費助成

学生が国内および国外の学会において自己の研究成果を公表することを奨励するため、その助成を行います。

### 学内大学院奨学金（給付型）

学位課程の学生を対象に年額 20 万円を給付します。
（大学院全体で約 40 名）

### 日本学生支援機構（全額返還免除あり）

教職大学院を修了して正規教員になった場合、大学院在学中に貸与された第一種奨学金（月額最大 88,000 円）の返還が全額免除されます。

## 入試情報

年３回の入試があります

（令和6年度は、9月・12月・2月に実施）

### 学費等納付金（年額）※2024年度実績

| | 1年次 | 2年次 |
|---|---|---|
| 入学金 | 150,000円 | – |
| 授業料 | 550,000円 | 570,000円 |
| 教育研究諸料 | 185,900円 | 185,900円 |
| 施設設備金 | 100,000円 | 100,000円 |
| その他 | 7,235円 | 7,235円 |
| 合計 | 993,135円 | 863,135円 |

入学金については、本学卒業生（含卒業見込生）は免除となります。
2年次以降の全人購読料・学友会費は未定のため、2024年度実績を記載してあります。
授業料・教育研究諸料・施設設備金は年2回分納可。
社会・経済情勢の変動により学費等納付金額を変更することがあります。

## 修了生＆在学生Interview

### 佐藤 美由紀 さん

1年課程　2025年修了

教職への思いが強い分、大学院の２年間という時間は長く感じられ、進学へのハードルもありましたが、玉川大学教職大学院では５年プログラムがスタートすると聞き進学を決めました。大学院では、学習者一人一人の多様な読みの交流を通して言葉の世界を深める文学の授業を実践するための具体的な手立てや理論を中心に学びました。玉川大学教職大学院は、私にとって、自分の関心に打ち込むことができ、またそれを教授や学生の皆さんから応援していただける素晴らしい環境です。このような恵まれた環境で、実践的指導力の向上に励むことができました。

### 中西 郁 さん

2年課程　2023年修了

かねてから教職を志していた私は、二松学舎大学文学部を卒業後、玉川大学教職大学院に進学しました。大学で学んだ古典文学作品の魅力を、生徒にも感じてもらえるような授業をしたいと考えたからです。教職大学院では、生徒が作品の価値に触れ、考えるための問いを研究しています。また、専門実習での経験から、発達障害や特別支援教育についても学んでいます。大学院に入学したときは教科の学びにこだわっていた私ですが、専門実習や日々の学びを通して、教壇に立つには幅広い知識・技能が必要であることを痛感しました。教職大学院はこのようなニーズに応えてくれる場所です。自信を持って教壇に立つため、これからも広く学んでいきたいです。

### 長田 ひなの さん

教育・連携プログラム　2024年入学

学部での教育実習の経験を通じて、「児童に寄り添い、学ぶ楽しさを伝える授業づくりができる教師」になりたいと感じ、教職大学院に興味を持ちました。進学時に開始された「教育・連携プログラム」は、専門教養科目の早期履修と学校現場での実務経験により、実践力を養うことができます。現在は大学院２年目となり、小学校での担任業務も行っています。教材研究や子ども理解に行き詰まった時には、大学院での学びが、自分の実践を後押ししてくれる場面が多くあります。そうした理論的な視点は、日々学校現場で直面する出来事を見つめ直し、自分自身を問い直すきっかけにもなっています。今後も「理論と実践の往還」を日々実感しながら、教師としても学び続けていきたいです。

### 遠藤 蓮 さん

2年課程　2025年修了

玉川大学教職大学院のカリキュラムには“理論と実践の往還”を強く感じます。１年の春学期には、必修科目で学校経営から教科指導、生徒指導の学修に加え、自身の興味のあるコースに合わせて学修を進めます。１年の秋学期には、約３か月の教職専門実習があり、これまでの学びや経験をすべて活用して臨むとても貴重な経験でした。教職大学院の生活を通して、教育に関して専門の先生からご指導をいただけるのはもちろんのこと、院生同士で議論しながら新たな気づきがあることも玉川の教職大学院ならではの魅力です。

## 公式 SNS始めました。

教職大学院の最新の活動や
入試情報を発信します！

Instagram▶　X▶　Facebook▶


**大学院に関するお問い合わせ・出願書類の請求は下記まで**

**TEL 042-739-8155**

〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1（入試広報部）


土曜・日曜・祝日及び下記の期間は休務となります。
8月24日～9月1日（夏期休暇）／12月26日～1月5日（冬期休暇）
＊その他、学園行事及び入試広報部諸行事で休務となることがあります。ご了承ください。

www.tamagawa.jp/graduate/